

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当:3月31日 中間配当:9月30日
公告方法	電子公告。但し、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

株式事務手続きのお問い合わせ先

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
- 証券会社の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
 - 特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
三井住友信託銀行株式会社 (特別口座管理機関) にお申し出ください。

未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

WEB INFORMATION

ホームページのご案内

株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

ホームページアドレス <http://www.adeka.co.jp>



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4401

いいかぶ 検索

空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
- ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を呈呈させていただきます

株式会社 **ADEKA**

〒116-8554 東京都荒川区東尾久七丁目2番35号
TEL. 03-4455-2801

152 Interim

第152期 中間決算のご報告

2013年4月1日~2013年9月30日

CONTENTS

- 株主の皆様へ
- 報告セグメント別概況
- 中間連結財務諸表
- 会社の概要・株式の状況
- ADEKAグループ CSRへの取り組み

BUSINESS REPORT



株式会社 **ADEKA**
(証券コード 4401)

シンガポール マーライオン
当社グループの現地法人ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.は、本年設立25周年を迎えました。同社は、食用加工油脂及び関連食品の製造・販売を行っております。



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
 当社グループの第152期中間期(2013年4月1日から2013年9月30日まで)の事業概況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 郡 昭夫

世界経済は、米国では緩やかな回復傾向で推移し、欧州の景気下げ止まりが見られたものの、中国をはじめとする新興国経済の減速などにより、総じて力強さに欠ける動きとなりました。国内では経済対策の効果や消費者マインドが底堅く推移するなど、明る

さを取り戻しつつあるものの、世界経済の先行き不透明感などにより、引き続き厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループはブラジル現地法人及び台湾現地法人台北事務所の業務開始、

中国でのプラスチック用酸化防止剤の増設など、海外展開の拡充を強化してまいりました。

当中間期の連結業績につきましては、売上高は957億97百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は60億75百万円(同28.9%増)、経常利益は63億85百万円(同42.6%増)、中間純利益は42億16百万円(同75.2%増)となりました。

当中間期の配当金につきましては、1株につき11円(前年同期11円)とさせていただきます。なお、年間配当金につきましては、中間配当金と合わせて1株につき22円(前期22円)とする予定です。

本年度は、2016年度売上高3,000億円達成を目指す上でも重要な年と位置付けており、中期経営計画

「STEP 3000」の施策を推し進め、売上高2,000億円達成を目標に挑戦してまいります。

最後になりましたが、当社グループの業容拡大に伴い多岐にわたる経営課題に対処していくため、本年6月21日から代表権を取締役社長、取締役専務の2名で担う新たな経営体制をスタートさせました。ステークホルダーの皆様への期待に応え、社会とともに発展してゆく企業グループを目指し、本業を通じた社会貢献を基本方針としたCSR経営に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

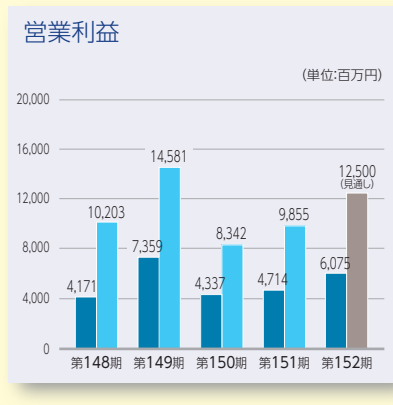
2013年12月

連結財務ハイライト

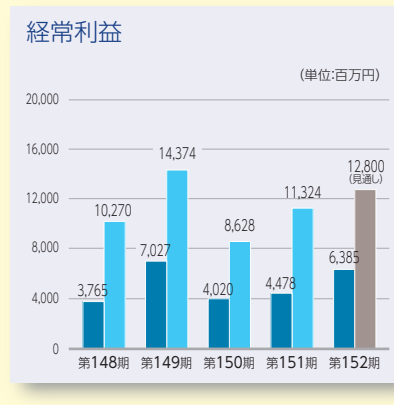
売上高957億97百万円
 (前年同期比8.3%増)



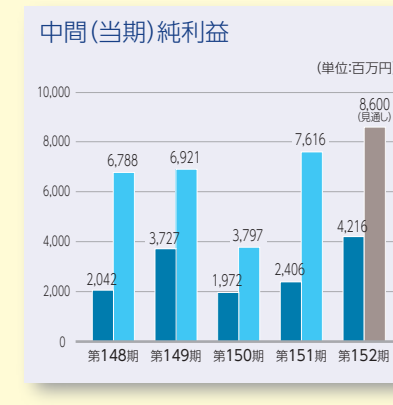
営業利益60億75百万円
 (前年同期比28.9%増)



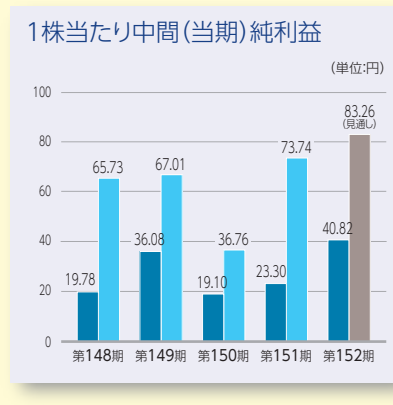
経常利益63億85百万円
 (前年同期比42.6%増)



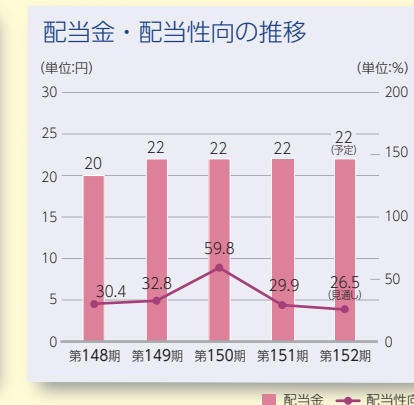
中間純利益42億16百万円
 (前年同期比75.2%増)



1株当たり中間純利益
 40円82銭



中間配当金 11円
 配当性向 26.5% (通期見直し)



報告セグメント別概況



化学品事業 (増収・増益)

当事業の売上高は、670億27百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は47億31百万円(同23.9%増)となりました。

【情報・電子化学品】

半導体材料は、スマートフォンやタブレット端末の需要拡大に伴い、最先端の半導体メモリに使われる高誘電材料などの販売数量は高い水準で推移しましたが、価格競争により販売価格が低下しました。プリント基板用のエッチング薬剤は、国内需要の減少と価格競争の影響を受けて、低調に推移しました。光学フィルムやフォトレジストに使用される感光性材料は、競争力の高い独自製品が伸長しました。

情報・電子化学品全体では、前期に比べ減収微減益となりました。

【機能化学品】

樹脂添加剤は、北米やアセアン地域などでの自動車生産の拡大に伴い、造核剤や光安定剤など高機能添加剤を中心に伸長しました。界面活性剤は、国内外において化粧品材料と塗料用添加剤が伸長しました。潤滑油添加剤は、自動車の省燃費に対する要求の高まりと、海外における新規顧客の獲得などにより、高い水準で推移しました。機能性樹脂は、海外は堅調に推移しましたが、国内需要の低迷により総じて低調に推移しました。

機能化学品全体では、前期に比べ増収増益となりました。

【基礎化学品】

プロピレングリコール類などは、国内需要が減少し低い水準で推移しました。過酸化水素及びその誘導品は、紙パルプをはじめとする国内市場の低迷により販売数量が低調に推移しました。

原材料及び燃料価格上昇を製品価格に反映できず、基礎化学品全体では、前期に比べ減収となり、営業損失となりました。



食品事業 (増収・増益)

当事業の売上高は、266億74百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は10億90百万円(同83.6%増)となりました。

円安による原材料価格の上昇などにより厳しい状況でしたが、依然としてアロマーデシリーズ(バター風味豊かなマーガリン)やみずみずしくて口溶けの良いホイップクリームなどの高機能製品の増販が寄与しました。

加えて、継続的なコスト削減への取り組みを実施し、食品事業全体では、前期に比べ増収増益となりました。

通期の見通し

通期連結業績及び年間配当金につきましては、当中間期の業績を踏まえ、次のとおり見込んでおります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	年間配当金
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
2014年3月期(見通し)	200,000	12,500	12,800	8,600	22
2013年3月期	184,885	9,855	11,324	7,616	22
増減率	8.2%	26.8%	13.0%	12.9%	

中間連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期末 (2013.9.30現在)	前年度末 (2013.3.31現在)	前年度末比増減
(資産の部)			
① 流動資産	118,446	116,293	2,153
固定資産	110,929	106,311	4,617
② 有形固定資産	74,151	71,983	2,168
無形固定資産	3,585	3,471	114
③ 投資その他の資産	33,192	30,856	2,335
資産合計	229,375	222,604	6,771
(負債の部)			
④ 流動負債	54,347	55,099	△751
⑤ 固定負債	31,317	30,277	1,040
負債合計	85,665	85,376	288
(純資産の部)			
株主資本	131,241	128,260	2,980
資本金	22,899	22,899	—
資本剰余金	19,925	19,925	—
利益剰余金	88,640	85,660	2,980
自己株式	△225	△224	△0
その他の包括利益累計額	7,743	4,819	2,924
その他有価証券評価差額金	3,046	1,868	1,178
土地再評価差額金	3,794	3,697	97
為替換算調整勘定	902	△746	1,648
少数株主持分	4,725	4,147	578
純資産合計	143,710	137,227	6,482
負債及び純資産合計	229,375	222,604	6,771

(注)1. 有形固定資産の減価償却累計額 142,249百万円
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

- ① 流動資産の増減額
現金及び預金の増加
有価証券の減少
が主な内訳です。 2,153百万円
4,896百万円
△3,998百万円
- ② 有形固定資産の増減額
建物及び構築物の増加
が主な内訳です。 2,168百万円
1,262百万円
- ③ 投資その他の資産の増減額
投資有価証券の増加
が主な内訳です。 2,335百万円
1,828百万円
- ④ 流動負債の増減額
買掛金の減少
短期借入金の増加
が主な内訳です。 △751百万円
△2,458百万円
2,082百万円

■ 中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2013.4.1~ 2013.9.30)	前中間期 (2012.4.1~ 2012.9.30)	前期比増減
売上高	95,797	88,461	7,335
⑥ 営業利益	6,075	4,714	1,360
⑥ 経常利益	6,385	4,478	1,906
税金等調整前中間純利益	6,117	3,768	2,349
中間純利益	4,216	2,406	1,809

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2013.4.1~2013.9.30)	前中間期 (2012.4.1~2012.9.30)
営業活動による キャッシュ・フロー	6,039	6,572
⑦ 投資活動による キャッシュ・フロー	△2,149	△7,196
財務活動による キャッシュ・フロー	399	1,914
現金及び現金同等物に 係る換算差額	831	55
現金及び現金同等物の 増減額	5,121	1,345
現金及び現金同等物期首 残高	29,210	25,755
現金及び現金同等物 中間期末残高	34,332	27,100

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

- ⑤ 固定負債の増減額
長期借入金の増加
が主な内訳です。 1,040百万円
757百万円
- ⑥ 売上高営業利益率
売上高経常利益率 6.3%(前中間期 5.3%)
6.7%(前中間期 5.1%)
- ⑦ 投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳
有形固定資産の取得による支出 △4,743百万円
フリー・キャッシュ・フロー
3,890百万円(前中間期 △624百万円)
※営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動による
キャッシュ・フローを差し引いた金額

会社の概要・株式の状況 (2013年9月30日現在)

会社の概要

設立	1917年1月27日
資本金	22,899,673,072円
従業員数	1,553名

役員

代表取締役社長	郡 昭 夫
代表取締役 専務執行役員	世良田 博 史
取締役 専務執行役員	森 尾 和 彦
取締役 常務執行役員	飯 尾 卓 美
取締役 常務執行役員	百 瀬 昭
取締役 執行役員	富 安 治 彦
取締役 執行役員	辻 本 光
取締役 執行役員	北 條 修 司
取締役 執行役員	矢 島 明 政
取締役(社外)	永 井 和 之
常勤監査役	木 内 慎 一
常勤監査役	柴 田 良 平
監査役(社外)	奥 山 章 雄
監査役(社外)	竹 村 葉 子
監査役(社外)	佐 藤 美 樹

連結子会社

ADEKAケミカルサプライ(株)
 ADEKAグリーンエイド(株)
 ADEKAファインフーズ(株)
 ADEKA総合設備(株)
 AMFINE CHEMICAL CORP. [米国]
 ADEKA (SINGAPORE) PTE. LTD.
 オキシラン化学(株)
 ADEKA食品販売(株)
 ADEKA物流(株)
 長江化学股份有限公司 [台湾]
 (株)ヨンゴ
 ADEKA KOREA CORP.
 ADEKA (ASIA) PTE. LTD. [シンガポール]
 ADEKA Europe GmbH [ドイツ]
 台湾艾迪科精密化学股份有限公司
 ADEKA PALMAROLE SAS [フランス]
 ADEKAライフクリエイト(株)
 艾迪科(上海)貿易有限公司 [中国]
 艾迪科精細化工(上海)有限公司 [中国]
 艾迪科精細化工(常熟)有限公司 [中国]
 上原食品工業(株)
 ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.
 艾迪科食品(常熟)有限公司 [中国]
 AM STABILIZERS CORP. [米国]

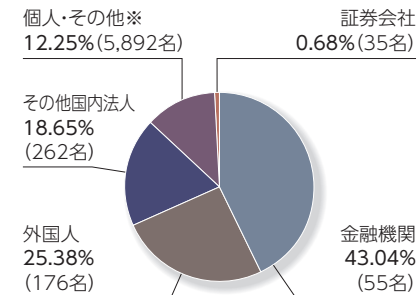
持分法適用関連会社

日本農薬(株)
 (株)コープクリーン

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式総数	103,651,442株
当中間期末株主数	6,420名 (前期末比67.2名減)

所有者別株式分布状況



※「個人・その他」には自己株式が含まれております。

執行役員 (取締役兼務者を除く)

上席執行役員	板 垣 和 雄
執行役員	北 森 一 孝
執行役員	幸 野 俊 則
執行役員	荒 田 亮 三
執行役員	林 義 人
執行役員	古 川 豊
執行役員	飛 田 悦 男
執行役員	石 尾 宏

大株主(上位10名)

順位	株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
1	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,037	6.80
2	朝日生命保険相互会社	4,769	4.61
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,320	4.17
4	みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口再信託 受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	3,770	3.64
5	ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント プリティッシュ クライアント	3,029	2.93
6	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,723	2.63
7	全国共済農業協同組合連合会	2,687	2.60
8	ADEKA取引先持株会	2,510	2.43
9	農林中央金庫	2,244	2.17
10	東京海上日動火災保険株式会社	1,801	1.74

(注)当社は自己株式172,703株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

ADEKAグループ CSRへの取り組み

ADEKAグループのCSR活動をまとめた「ADEKAグループCSRレポート2013」を発行しました。

本レポートでは、2012年4月にスタートした中期経営計画「STEP 3000」で掲げる、「海外」「技術」「価値創造」「投資」「人財」の5つの基本方針に沿って、本業を通じた社会貢献を目指すADEKAグループの取り組みを紹介しています。

例えば、「5つの基本方針 海外」のページでは、ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.における事業展開と人財育成にスポットを当て、現地のニーズに応えるための体制構築を紹介しています。

また、「5つの基本方針 技術」のページでは、重点志向しているライフサイエンスやエネルギー分野の新製品・新技術の研究開発にスポットを当て、健康で豊かな社会の実現に貢献するための3つの研究開発(健康素材ベータグルカン、大腸がん早期発見用造影剤ナノビーコン、太陽電池の発電効率を向上させる波長変換材料)を紹介しています。



CSRレポートの詳細は当社ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.adeka.co.jp/csr/index.html>